

---

【再送】炭素市場エクスプレス メールマガジン 第 54 号(2020 年 7 月 10 日発行)

---

※先ほど配信したメールマガジンに、一部文字化けと掲載内容(事務局からのお知らせ[2])に誤りがありましたので、修正版を再送いたします。ご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ありません。

こんにちは、炭素市場エクスプレス事務局です。

本メールマガジンは、炭素市場に関する最新の動向や国内外のイベント情報等についての情報を毎月 2 回程度配信しています。下記リンクもあわせてご覧ください。

ホームページ <https://www.carbon-markets.go.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/jcm.oecc/>

二国間クレジット制度(JCM) <https://www.carbon-markets.go.jp/jcm/index.html>

◇トピックス

---

◆1. 新着コラム！

[1] 「ウェビナー傍聴：パリ協定 6 条におけるクレジット売り過ぎリスクの削減－移転・獲得を行う国のための実践的な戦略－」

[2] 「JCM 設備補助事業：令和 2 年度第 1 回採択案件」

◆2. 事務局からお知らせ

[1] JC(合同委員会)の規則・ガイドラインの決定(カンボジア)

[2] JCM 提案方法論へのパブリック・コメントを開始(モルディブ)

[3] 炭素市場エクスプレスの公式 YouTube チャンネル開設

◆3. 政府機関の発表

[1] 令和2年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の採択案件の決定について(環境省)

◆4. 公募情報

[1] 令和2年度「我が国循環産業の海外展開事業化促進業務」及び「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(我が国循環産業の戦略的国際展開による海外でのCO2削減支援事業)」の公募について(環境省)

◆1. 新着コラム！ -----

[1] 「ウェビナー傍聴：パリ協定 6 条におけるクレジット売り過ぎリスクの削減－移転・獲得を行う国のための実践的な戦略－」

2020 年 6 月 29 日(月)に、「Swedish Energy Agency」が主催した Webnair の傍聴報告です。

パリ協定 6 条に基づく協力活動を実施する際に、緩和プロジェクトのホスト国が削減成果(クレジット/ITMO)を他国に売り過ぎてしまうことで、結果としてホスト国が策定した NDC の緩和目標を達成できなくなってしまうリスクがある。本イベントでは、このクレジットの売り過ぎリスク(overselling risks)について、その問題を論じたレポート「Practical strategies to avoid overselling(Swedish Energy Agency/2020 年 5 月)」の執筆者による議論が行われた。

【下記よりレポート(PDF)をダウンロードできます】

⇒ [https://www.carbon-markets.go.jp/column/event\\_report/11433/](https://www.carbon-markets.go.jp/column/event_report/11433/)

[2] 「JCM 設備補助事業：令和 2 年度第 1 回採択案件」

2020 年度第 1 回採択案件として選定された JCM 設備補助事業について、コラムでも紹介しています(環境省報道発表は下記参照)。

【イラストで紹介しています】

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/column/others/11430/>

◆2. 事務局からのお知らせ -----

[1] JC(合同委員会)の規則・ガイドラインの決定(カンボジア)

合同委員会では、電子的な方法で規則・ガイドラインの決定を採択しました。

⇒ <https://www.jcm.go.jp/kh-jp/information/379>

【カンボジアにおける最近の動向はこちらをご覧ください】

⇒ <https://www.jcm.go.jp/kh-jp>

[2] JCM 提案方法論へのパブリック・コメントを開始(モルディブ)

JCM 提案方法論(モルディブ)「Installation of Energy Management System and Battery Energy Storage System (EMS-BESS) with Solar PV System」へのパブリック・コメント(2020年7月9日～2020年7月23日)を開始しました。

⇒ <https://www.jcm.go.jp/mv-jp/information/380>

【モルディブにおける最近の動向はこちらをご覧ください】

⇒ <https://www.jcm.go.jp/mv-jp>

[3] 炭素市場エクスプレスの公式 YouTube チャンネル開設

炭素市場エクスプレスの公式 YouTube チャンネルを開設しました。  
今後は Webinar の録画記録などもアップしていく予定です。

【YouTube チャンネル】

⇒ [https://www.youtube.com/channel/UCvtnyFuF\\_sjIBOmmeGR6NpQ/](https://www.youtube.com/channel/UCvtnyFuF_sjIBOmmeGR6NpQ/)

◆3. 政府機関の発表

[1] 「令和2年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の採択案件の決定について」(環境省)

本日令和2年7月6日、令和2年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の採択案件として10件を選定しました。これまでに採択した案件を含めた2030年までの累積温室効果ガス(GHG)削減量は、約1,370万トンを見込んでおります。

【環境省による報道発表】

⇒ <http://www.env.go.jp/press/108147.html>

◆4. 公募情報

[1] 令和2年度「我が国循環産業の海外展開事業化促進業務」及び「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(我が国循環産業の戦略的国際展開による海外でのCO2削減支援事業)」の公

募について(環境省)

我が国循環産業の海外展開を支援するため、令和 2 年度「我が国循環産業の海外展開事業化促進業務」及び「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(我が国循環産業の戦略的国際展開による海外でのCO2削減支援事業)」を公募いたしますので、お知らせします。

【環境省による報道発表】

⇒ <https://www.env.go.jp/press/108181.html>

◎●お問い合わせについて

---

炭素市場エクスプレスでは、二国間クレジット制度(JCM)や国際的な市場メカニズムに関する情報を提供しております。JCM の制度や仕組み、プロジェクトの実施、クレジットの活用及び市場メカニズムの動向等について、下記ページよりメール・電話にてお気軽にご相談ください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/contact/>

メールマガジン登録内容変更もしくは配信停止ご希望の方は、下記ページより手続きください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/>

メールマガジンのバックナンバー(PDF)は下記サイトで公開しています(最新号を配信後に、前号がアップされます)。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/2020/>

◎●発行・編集

---

炭素市場エクスプレス事務局 / 一般社団法人海外環境協力センター(OECC)

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33 フロンティア御成門 3 階(フロンティア御成門)

---

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。